



# いわて・みやぎ・ふくしま 便り

2020年  
5月22日発行

日本生協連  
組合員活動G

No. 1

2020年度「いわて・みやぎ・ふくしま便り」No.1をお送りします。

東日本大震災の発生から9年が経ちました。引き続き、被災地の様子をお伝えしていきます。

今回は、コヨットからの便りはお休みです。



## 被災地の買い物を支える 移動店舗「にこちゃん号」



いわて生協では、事業を通じて「買い物支援」に取り組んでいます。共同購入事業では、個人宅配手数料を減免する「復興支援サービス」と「新被災者サポート値引き」を継続しています。店舗事業では、宮古市・山田町からの「被災地支援お買い物バス」の運行と、移動店舗「にこちゃん号」による買い物支援を行っています。

移動店舗「にこちゃん号」は、全国の生協のみなさまといわて生協の組合員の募金で実現し、2012年に運行を開始しました。現在、宮古市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市の災害公営住宅など68ヶ所を回っています。

宮古市・大槌町・釜石市は宮古市のベルフ西町から、大船渡市・陸前高田市は一関市のコープ一関コルザから各地を訪問しています。

「にこちゃん号」は車内に冷蔵庫を備え、お魚、お肉や豆腐、牛乳をはじめ、お米、総菜、日曜雑貨など一通りのものを取りそろえ、1日6～7ヶ所の販売場所へ伺っています。2019年度はのべ6万4千人のご利用がありました。

「仮設住宅を回っているときは先行き不安の方も多かったように思いますが、いまは、みなさん少し明るくなったように感じます」と、にこちゃん号の担当者は話します。

震災から9年が経ち、復興は着実にすすんでいます。すべて完了したわけではありません。県内の仮設住宅には今も約500の方が暮らしています。心の復興やコミュニティづくり、なりわいづくりなどにはまだまだ支援が必要です。



にこちゃん号で顔を合わせることで  
コミュニティの場にもなっています。



車内には冷蔵庫もあり、  
一通りの商品が揃っています。

### 《利用者の声》

- 家族が休みの日は買い物に連れて行ってもらえるけど、平日は「にこちゃん号」でほとんどをまかなうことができ、とても助かっています。
- ほしいものがあれば、注文して次の回に持ってきてくれるので不便は感じません。今日もいろいろ頼んだものを受け取りに来ました。
- 震災前は、自転車でも買い物に行けたけど、高台に移って、年もとったので家の近くに来てくれるのはありがたいです。



## 「3.11を忘れない取り組み」震災や災害への備えを伝えました



東日本大震災から9年が経過し震災の風化がすすむ中、みやぎ生協では、東日本大震災を忘れずに災害への備えや防災・減災を考える機会として、2012年度から毎年、宮城県内各地のこ〜び委員会が主催して「3.11を忘れない取り組み」を行ってきました。

2019年度は、県内各地で計36回計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため2月下旬から3月までの16回は中止または延期となりました。実施した会場では、被災された方々の手作り品の販売やローリングストック（循環備蓄）の紹介、防災グッズや被災地を伝える写真の展示などを通して、支援や減災の大切さを伝えました。

実施したこ〜び委員からは、「震災の風化が懸念される中で多くの組合員へ伝えることで、少しでも災害時のことについて考えてもらう機会になった」との声が寄せられました。



- ① ローリングストックに向いている商品と紹介資料の展示（2/7 木町店）
- ② 乾燥ごぼうサラダの試食提供を通して、ローリングストックについて紹介（2/15 柏木店）
- ③ 被災地の変化を伝える写真とローリングストックに向いている商品の展示（2/15 古川南店）
- ④ 「FUOCO」掲載商品を販売し、多くの方にご購入いただきました（2/15 古川南店）
- ⑤ みやぎ生協被災者支援活動応援募金にも取り組みました（2/27 利府店）



## 植樹した「夜の森さくらプロジェクト」の桜が開花しました！



「夜の森さくらプロジェクト」とは、東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故により町民の避難が続く、福島県富岡町夜の森地区の桜の直系子孫を、全国に広めていくプロジェクトです。福島県農林種苗農業協同組合の発案でコープふくしまが応援し、2020年4月現在、全国24ヶ所で植樹が行われています。



みやぎ生協では、2018年5月に仙台市泉区八乙女にある「みやぎ生協文化会館ウィズ」入口前に植樹し、2回目の春を迎えた2020年4月8日、初開花しました。緊急事態が続いて笑顔が少なくなっている中、一生懸命咲く姿に、元気をもらえました。

＜成長の様子＞



植樹2か月後(2018/7/14)



約1年後(2019/5/17)



約2年後(2020/5/8)



## コープ東北ネットショップでFUCCO掲載商品の取り扱いを開始



東日本大震災で被災された岩手・宮城・福島の手作り団体のみなさんによる手作りを掲載した「とうほくてしごとカタログ FUCCO」の商品が、4月27日から「コープ東北ネットショップ」で購入できるようになりました。手作り団体の活動の様子も紹介しながら、計26団体の84品目を取り扱っています。(団体数・品目数は随時変更の場合があります)

注文をお受けすると、「とうほくてしごとカタログ FUCCO」の受注発送センターとなっているNPO法人「応援のしっぽ」が商品手配・発送を行います。お支払いはクレジットカード決済で行うことができ、どなたでも購入できます。(会員登録なしでの購入が可能)



商品を購入していただくことが、作り手のみなさんへの応援につながっていきます。ぜひ一度、ご覧ください。

コープ東北ネットショップ

<https://www.yoyaku.coop/>





会えないけれど、この間の繋がりを大切に…。  
富岡町 夜の森の桜 開花のお知らせが沢山届いています



コープみえでの  
初開花の様子

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、復興団地や仮設のサロンは3月より休止しています。一部の団地では、運動不足を心配する自治会長さんが中心となり、朝のラジオ体操を日課にしているところもあります。また、この間被災地ツアーの語り部やサロンでお世話になった方々に、コープふくしまの有志の組合員が手作りしたマスクを送って差し上げました。今年は、皆さんで桜の花見もできず、寂しい思いをしておりました。

そんな中、コープふくしまが協力している「富岡町夜の森さくらプロジェクト」で植樹した桜について、「初めて開花しました!」「今年も無事開花しました!」と嬉しい開花のお知らせが沢山届いています。苗木の送付でお世話になっている

福島県農林種苗組合のご担当者様のお話では、植樹してから3年位で花が咲くとのこと。2019年11月7日に植えたコープみえさんからは3月26日、2018年4月13日に植えたコープながのさんからは4月10日に、共に初開花のお知らせが届きました。台風19号災害や新型コロナウイルスで大変な状況の中、富岡町に心を寄せて頂いている各生協の方々の近くで、生き活きと美しく咲き誇る姿を想像すると、とても心強く思います。



コープながので初開花した桜とそれを喜ぶ皆さん

発行

日本生協連 社会・地域活動推進部 組合員活動グループ  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

百瀬